

# 撮影リスト利用のてびき

for 現場DEカメラLITE/現場DEカメラPRO/RICOH G900/RICOH Drive

本書は下記対応製品に付属する「写真管理ツール」で出力した「撮影リスト」を対応カメラや撮影アプリで利用する手順について説明します。

必要に応じて本書を印刷の上、お役立てください。

## 撮影リストとは

撮影リストとは、撮影する予定の施工箇所をリスト化しておき、カメラ機器やカメラアプリに読み込ませて施工箇所ごとに撮影を進めていくためのリストデータのことです。

該当する撮影箇所の情報は撮影した写真に埋め込まれます。

埋め込まれた情報は「写真管理ツール」への写真追加の際に、自動振り分け(分類)に使われます。

これにより従来手作業で行っていた写真整理作業がより便利になります。

「写真管理ツール」には下記3種類の「撮影リストの出力」メニューがございます。

- ・【アプリ】現場DEカメラ用出力 ※現場DEカメラLITE及び現場DEカメラPROで利用可能
- ・【カメラ】リコーカメラメモ出力
- ・【アプリ】RICOH Drive用出力

## 【対応製品について】

本書は以下の弊社写真管理・電子納品支援ソフトウェアに対応しています。

- ・現場編集長CALSMaster (Ver.17以降)
- ・PHOTOMASTER Plus (Ver.4.6.0.0以降)

※ 上記製品はWindows向けのPCソフトウェアです。必要推奨動作環境につきましては製品仕様をご確認ください。

※ 今後、対応製品が追加される場合があります。

<b>1 初期設定</b>	<b>4</b>
1-1 【アプリ】現場DEカメラ / 【アプリ】RICOH Drive 利用時のストレージ設定	4
1-2 【アプリ】現場DEカメラの初期設定	7
<b>2 撮影リストを作成する</b>	<b>13</b>
2-1 写真箱ツリーを作成する	13
2-2 撮影リストの出力	14
<b>3 撮影リストを利用する</b>	<b>16</b>
3-1 【アプリ】現場DEカメラ用出力の利用	16
3-2 【カメラ】リコーカメラメモ出力の利用	19
3-3 【アプリ】RICOH Drive用出力の利用	20

作成された「撮影リスト」をカメラやアプリで使用するため、それぞれの機器側で初期設定を行ってください。  
なお、外部ストレージを利用する場合は、事前にアカウントを取得してください。

既に設定が済んでいる場合は次章「2 撮影リストを作成する」にお進みください。

## 1-1 【アプリ】現場DEカメラ / 【アプリ】RICOH Drive 利用時のストレージ設定

【アプリ】現場DEカメラでは、保存先ストレージにDropbox、Box、RICOH Drive、本体ストレージが選択でき、【アプリ】RICOH Driveでは保存先ストレージにRICOH Driveが利用できます。

使用するストレージに合わせた設定を行うことでストレージ連携が利用できるようになります。

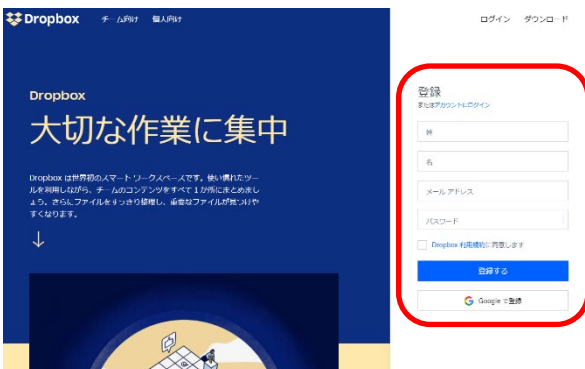
Dropbox、Box、RICOH Driveを利用するには、事前にソフトのインストールやアカウントを取得する必要があります。

### 1-1-1 【外部ストレージ】Dropbox 利用時のアカウント取得／インストール

ここではインターネットブラウザからのアカウント取得／インストール手順の一例についてご紹介します。

いずれかのブラウザを起動し、下記URLにアクセスします。

<https://www.dropbox.com/>



アカウントを取得する方の姓、名、メールアドレス、パスワードを入力します。

Dropboxの利用規約を確認し、同意する場合はチェックします。

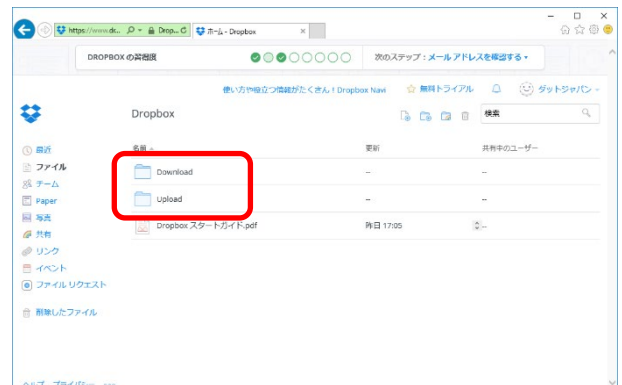
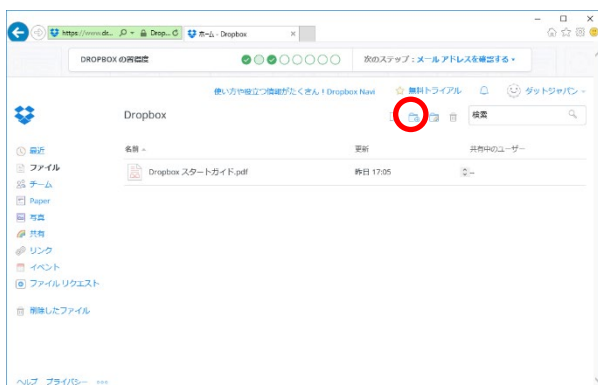
[登録する(無料)]または[Googleアカウントで登録(無料)]をクリックします。

その後は画面に従い、アカウントの取得手続きをお進めください。

インストールの後にアカウント取得することも可能ですので、詳しくはDropboxの公式ホームページをご確認ください。

アカウントを取得し、Dropboxが利用可能になりましたら**データのダウンロードやアップロードの為の任意のフォルダを必ず作成**してください。

(例)



## 1-1-3 【外部ストレージ】Box 利用時のアカウント取得

詳しくはBoxの公式ホームページをご確認ください。

<https://www.box.com/ja-jp/home>

アカウントを取得し、Boxが利用可能になりましたら**データのダウンロードやアップロードの為に任意のフォルダを必ず作成**してください。

## 1-1-2 【外部ストレージ】RICOH Drive 利用時のアカウント取得

RICOH Driveは法人向けのオンラインストレージサービスです。

契約完了後の利用開始となりますので、お申し込み手続きを行ってください。

詳しくはRICOH Driveの公式ホームページをご確認ください。

<https://www.ricoh.co.jp/service/ricoh-drive>

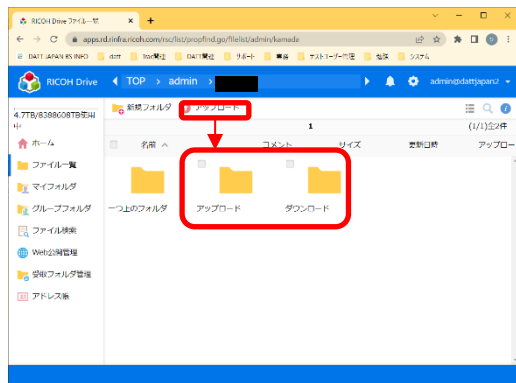
アカウントが発行されましたら、いずれかのブラウザを起動し、下記URLにアクセスします。

<https://apps.rd.rinfra.ricoh.com/>



発行されたユーザーIDとパスワードを入力しログインします。

(例)



**データのダウンロードやアップロードの為に任意のフォルダを必ず作成**してください。

画面左の[新規フォルダ作成]をクリックし、フォルダを作成します。

※【アプリ】RICOH Driveで【外部ストレージ】RICOH Driveを利用する場合は、撮影リストを保存するフォルダ階層が決められています。

→ TOP▶(法人名)▶(ユーザーID)▶list

listフォルダ以下に任意のフォルダを作成してください。

## 1-1-4 iTunes USB同期 利用時のインストール

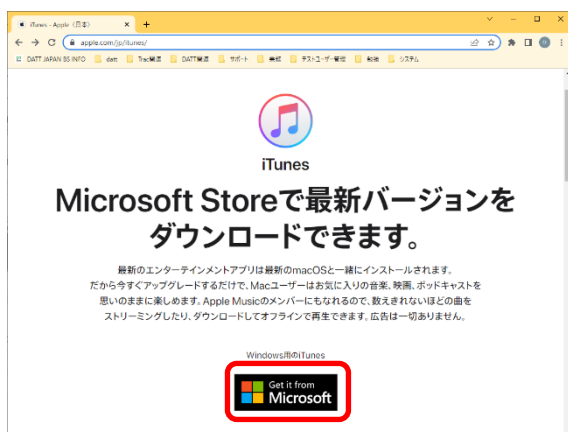
iTunesはアップルからリリースされているメディアプレーヤーです。

ここではインストールについてご紹介します。

詳しくはiTunesの公式ホームページをご確認ください。

いずれかのブラウザを起動し、下記URLにアクセスします。

<https://www.apple.com/jp/itunes/>



ダウンロードボタンをクリックします。

その後は画面に従い、ダウンロード・インストールを進めてください。

インストールが完了し、iTunesを起動すると左にあるような画面が表示されます。



iTunesをインストールしたコンピューターと現場DEカメラがインストールされたiOS端末をUSB接続して利用します。

## 1-2 【アプリ】現場DEカメラ の初期設定

撮影リストや撮影画像の保存先ストレージを設定します。現場DEカメラでは保存先ストレージにDropbox、Box、RICOH Drive、本体ストレージが選択でき、使用するストレージに合わせた設定を行うことでストレージ連携が利用できるようになります。

## 1-2-1 【外部ストレージ】Dropbox を保存先に指定する場合

Dropboxと連携して撮影リストのダウンロードや撮影画像のアップロードを行うための設定です。

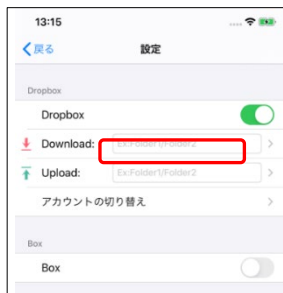
現場DEカメラLITE	現場DEカメラPRO
 <p>「トップメニュー」→「全体設定」に入り、DropboxのスライダをONにします。</p>	 <p>「トップメニュー」→「全体設定」に入り、DropboxのスライダをONにします。</p>
 <p>Dropboxとの連携を行います。アカウント情報を入力して「ログイン」をタップします。リクエストが表示されたら「許可」をタップします。</p>	 <p>Dropboxとの連携を行います。アカウント情報を入力して「ログイン」をタップします。リクエストが表示されたら「許可」をタップします。</p>

## ●ダウンロード元の指定

撮影リストのダウンロード元を指定します。

「リスト読込撮影」を行うと、ここで指定したフォルダに含まれる撮影リストを読み取ることができます。

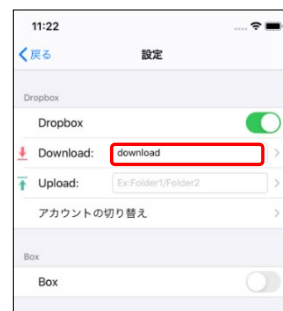
なお、以下の画面操作は「現場DEカメラLITE」「現場DEカメラPRO」共通です。



「Download」のボックスをタップします。



左側の「選択」をタップして指定します。フォルダ名をタップするとフォルダの下階層に移動します。



選択されたフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

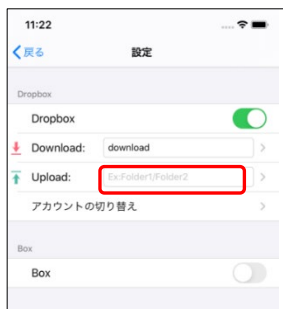
※ 最上位の階層はダウンロード元に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

## ●アップロード先の指定

撮影画像のアップロード先を指定します。

「撮影画像一覧」からアップロードされた画像はここで指定したフォルダに転送されます。

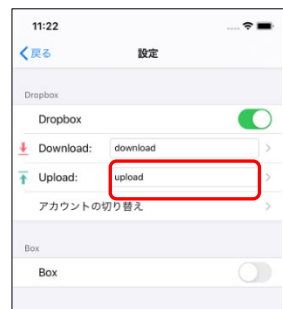
なお、以下の画面操作は「現場DEカメラLITE」「現場DEカメラPRO」共通です。



「Upload」のボックスをタップします。



左側の「選択」をタップして指定します。フォルダ名をタップするとフォルダの下階層に移動します。



選択されたフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

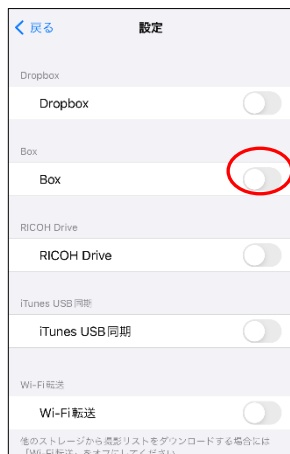
※ 最上位の階層はアップロード先に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

## 1-2-3 Box を保存先に指定する場合

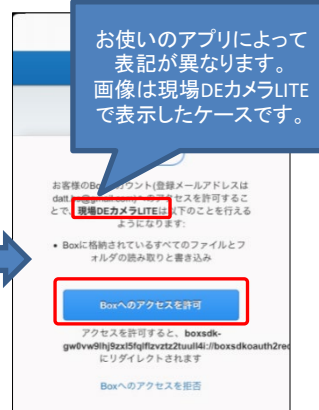
Boxと連携して撮影画像のアップロードや撮影リストのダウンロードを行うための設定です。

## ●設定前の準備

この設定を行うにはBoxのアカウントが必要です。お持ちでない方はBoxアカウントを取得し、アップロードやダウンロードを行うための任意のフォルダを最低1つ作成してください。



「トップメニュー」→「全体設定」に入り、BoxのスライダをONにします。

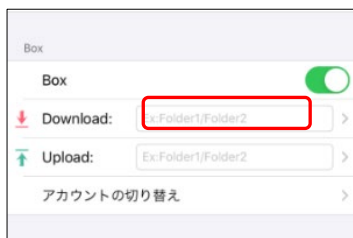


Boxとの連携を行います。アカウント情報を入力して「承認」をタップします。アクセス許可が表示されたら「許可」をタップします。

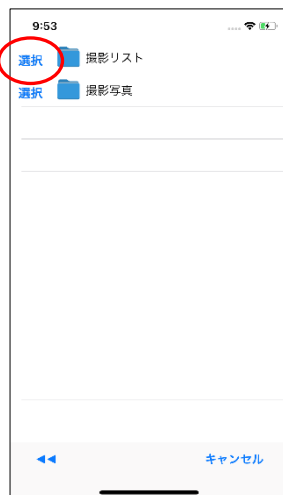
## ●ダウンロード元の指定

撮影リストのダウンロード元を指定します。

「リスト読込撮影」を行うと、ここで指定したフォルダに含まれる撮影リストを読み取ることができます。



「Download」のボックスをタップします。



左側の「選択」をタップして指定します。フォルダ名をタップするとフォルダの下階層に移動します。



選択されたフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

※ 最上位の階層はダウンロード元に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

## ●アップロード先の指定

「撮影画像一覧」からアップロードされる画像の転送先を指定します。

 <p>「Upload」のボックスをタップします。</p>	 <p>左側の「選択」をタップして指定します。フォルダ名をタップするとフォルダの下階層に移動します。</p>	 <p>選択されたフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。</p>
--	---	--

※ 最上位の階層はアップロード先に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

## 1-2-2 RICOH Drive を保存先に指定する場合

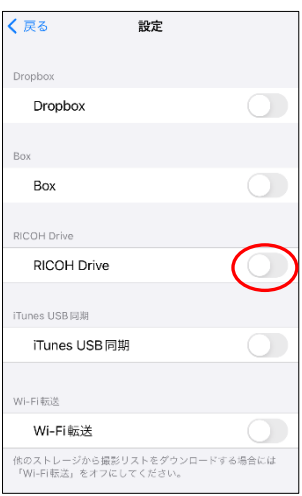
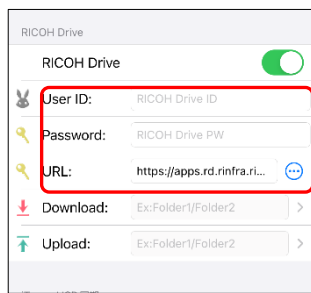
RICOH Driveと連携して撮影画像のアップロードや撮影リストのダウンロードを行うための設定です。

## ●設定前の準備

この設定を行うにはRICOH Driveのアカウントが必要です。お持ちでない方はRICOH Driveアカウントを取得し、アップロードやダウンロードを行うための任意のフォルダを最低1つ作成してください。

また、ログインは現場DEカメラから行えるのでRICOH Driveアプリがインストールされている必要はありません。

なお、以下の操作はLITE版/PRO版共通です。

 <p>「トップメニュー」→「全体設定」に入り、RICOH DriveのスライダをONにします。</p>	 <p>RICOH Driveの「User ID」「Password」「URL」を入力します。</p>
---	---

### ●ダウンロード元の指定

撮影リストのダウンロード元を指定します。

「リスト読込撮影」を行うと、ここで指定したフォルダに含まれる撮影リストを読み取ることができます。

なお、以下の画面操作は「現場DEカメラLITE」「現場DEカメラPRO」共通です。

 <p>「Download」のボックスをタップします。</p>	 <p>左側の「選択」をタップして指定します。フォルダ名をタップするとフォルダの下階層に移動します。</p>	 <p>選択されたフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。</p>
--	---	--

※ 最上位の階層はダウンロード元に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

※ URLは「<https://apps.rd.rinfra.ricoh.com/>」をご指定ください。

### ●アップロード先の指定

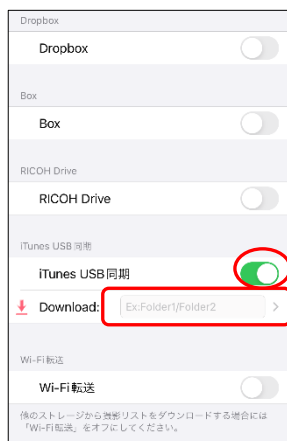
「撮影画像一覧」からアップロードされる画像の転送先を指定します。

 <p>「Upload」のボックスをタップします。</p>	 <p>左側の「選択」をタップして指定します。フォルダ名をタップするとフォルダの下階層に移動します。</p>	 <p>選択されたフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。</p>
--	---	--

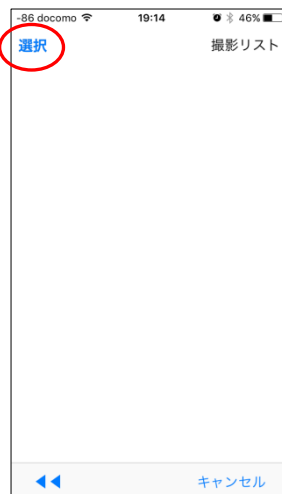
※ 最上位の階層はアップロード先に指定できません。本アプリでフォルダ作成はできませんので、あらかじめフォルダを作成しておいてください。

## 1-2-4 本体ストレージを保存先に指定する場合(iTunes USB同期)

この設定はオンラインストレージとは異なり、PCとUSB接続してiTunes経由で撮影リストを転送するときに使用します。撮影リストを本体へ転送していないと設定できないため、手順については「3-1-1 撮影リストの転送」をご覧ください。



「全体設定」に進みiTunes USB同期のスライダをONにし、「Download」のボックスをタップします。



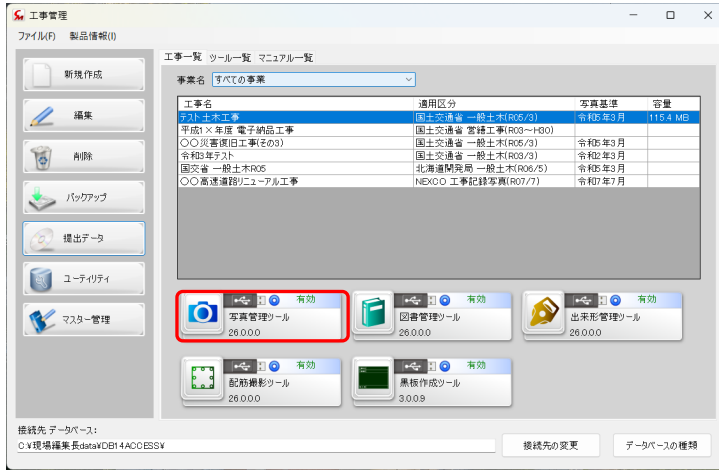
左側の「選択」をタップして指定します。フォルダ名をタップするとフォルダの下階層に移動します。



選択されたフォルダ名が表示されていれば設定は完了です。

※ 撮影画像は本体ストレージに保存されるため「Upload」フォルダの指定はありません。

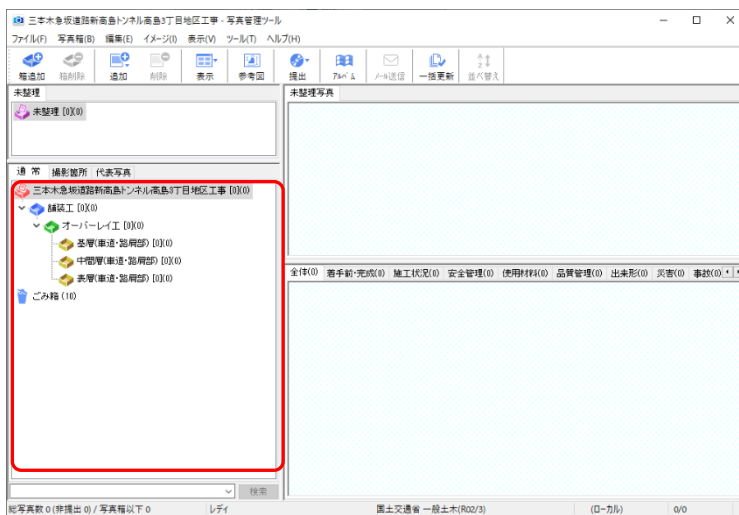
## 2-1 写真箱ツリーを作成する



工事管理画面から工事を選択し、写真管理ツールを起動します。

配筋断面図をリンクさせたい場合はあらかじめ配筋撮影ツールで断面図の切り出しと符合登録を行ってください。

※詳細な操作方法については、同梱されたマニュアルをご参照ください。



撮影リストの基になる写真箱ツリーを作成していきます。ある程度決まった工種・工法の場合はウィンドウ上部のメニューバーより「写真箱(B)」→「写真箱の一括作成(M)」から既定の工種区分の写真箱ツリーを一括して作成することも可能です。

## Point

ここで作成した写真箱の階層構造はそのまま撮影リストの情報として扱われ、カメラ機器の上で撮影箇所として確認しながら撮影していくことができます。

撮影された画像には写真箱階層の位置がデータとして記録され、写真管理ツールへ写真を取り込む際に記録された階層情報から自動的に所定の写真箱へ写真が割り振られる「自動振り分け」に対応します。

写真箱階層は一度に全部作成しなくても、撮影リスト自体が部分出力に対応しているので撮影する大まかな箇所ごとに写真箱を作成して撮影しても写真振り分け時に構造全体が影響されることはありません。

## 2-2 撮影リストの出力

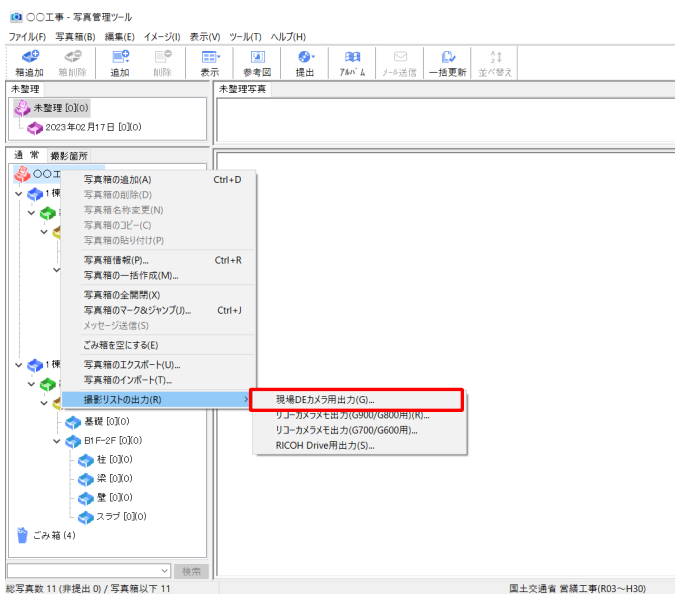
【カメラ】や【アプリ】で利用するための撮影リストを出力します。

写真管理ツールでは下記4種類の「撮影リストの出力」メニューをご用意しております。

- ・【アプリ】現場DEカメラ用出力 ※現場DEカメラLITE及び現場DEカメラPROで利用可能
- ・【カメラ】リコーカメラメモ出力 (G900/G800用)
- ・【カメラ】リコーカメラメモ出力 (G700/G600用)
- ・【アプリ】RICOH Drive用出力

### 2-2-1 【アプリ】現場DEカメラ用出力

現場DEカメラで利用するための撮影リストを出力します。



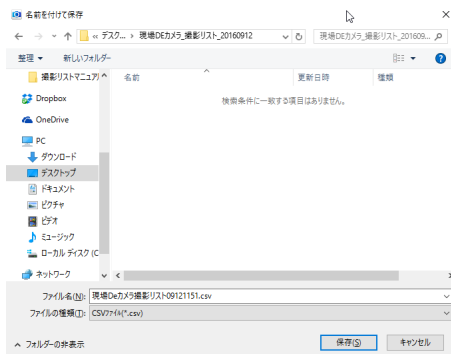
写真箱ツリーが完成したら、ウィンドウ上部のメニューバーより[写真箱(B)]-[撮影リストの出力(R)]-[現場DEカメラ用出力(G)]を選択します。

名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されますので、任意のフォルダを指定し[保存]をクリックすることにより、撮影リストが出力されます。

配筋断面図が関連付けられている場合は、現場DEカメラでの表示用に図面ファイルも出力されます。

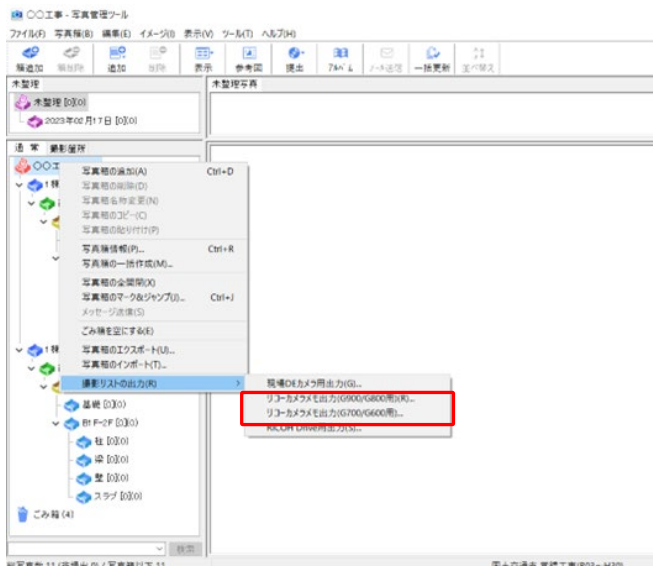
現場DEカメラでは1フォルダを1現場の撮影リストとして扱いますので、「**現場名のフォルダ**」を作成し、**その中に撮影リストを保存**してください。

※保存ファイル名の初期値としては、「現場Deカメラ撮影リストMMDDhhmm.csv」が表示されます。



## 2-2-2 【カメラ】リコーカメラメモ出力

リコー社製のカメラ(G900など)で利用するための撮影リストを出力します。



写真箱ツリーが完成したら、ウィンドウ上部のメニューバーより[写真箱(B)]-[撮影リストの出力(R)]-[リコーカメラメモ出力(R)]を選択します。

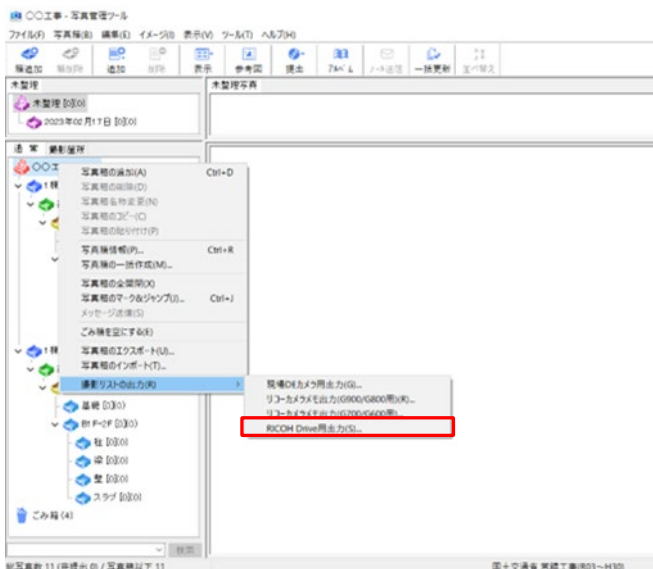
名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されますので、任意のフォルダを指定し[保存]をクリックすることにより、撮影リストが出力されます。

出力先フォルダは、デスクトップなどに分かりやすい名前を付けて作成することをお奨め致します。

※保存ファイル名の初期値としては、  
「MMDDhhmm.mta」  
が表示されます。

## 2-2-3 【アプリ】RICOH Drive用出力

リコー社製アプリ「RICOH Drive」で利用するための撮影リストを出力します。



写真箱ツリーが完成したら、ウィンドウ上部のメニューバーより[写真箱(B)]-[撮影リストの出力(R)]-[RICOH Drive用出力(S)]を選択します。

名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されますので、任意のフォルダを指定し[保存]をクリックすることにより、撮影リストが出力されます。

出力先フォルダは、デスクトップなどに分かりやすい名前を付けて作成することをお奨め致します。

※保存ファイル名の初期値としては、  
「RICOH Drive\_YYYYMMDDhhmmss.csv」  
が表示されます。

## 3-1 【アプリ】現場DEカメラ用出力の利用

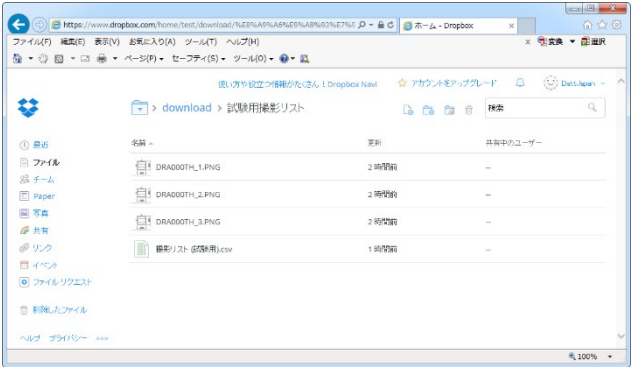
## 3-1-1 撮影リストの転送

撮影リストを【アプリ】現場DEカメラで利用するため、初期設定を行ったストレージへ転送します。

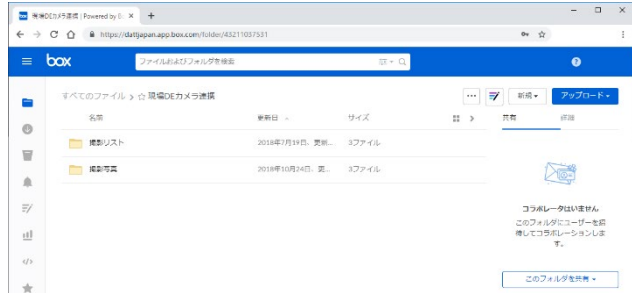
## ●外部ストレージ(Dropbox / Box / RICOH Drive)への転送

Dropbox、Box、RICOH Driveへ撮影リストを転送する場合は、Webブラウザからそれぞれのストレージサービスにログインし、撮影リストや断面図画像ファイルを「フォルダ単位」でアップロードしてください。

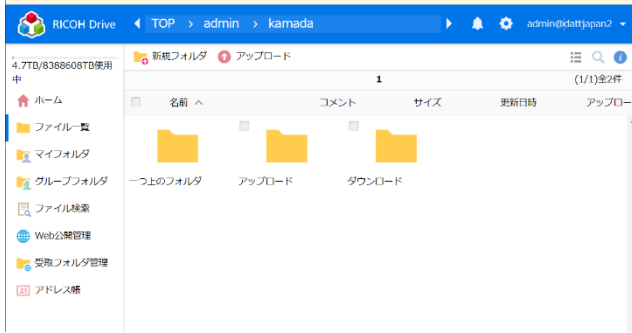
Dropbox



Box



RICOH Drive



※ Dropbox、Box、RICOH Driveにフォルダが作成されていない場合は現場DEカメラLITE / 現場DEカメラPROから撮影リストを取得できません。

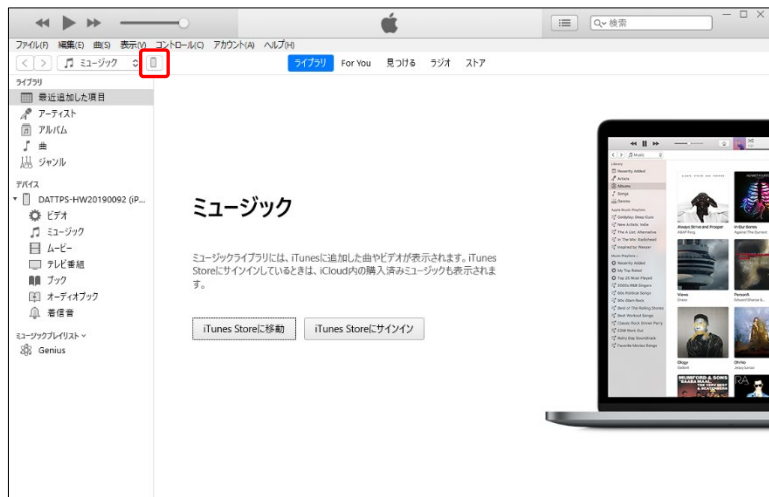
※ Dropbox、Boxの場合、ブラウザを使用せずにWindows用アプリケーションをインストールし、任意のフォルダを自動同期させても問題ありません。

### ●iTunesを用いた本体ストレージへの転送

iPhone、iPod、iPadの本体ストレージに撮影リストを転送する場合はiTunesを使用します。  
現場DEカメラがインストールされたiOS端末をPCにUSB接続してください。



「このコンピュータを信頼しますか?」  
と表示されるので「信頼」をタップ。



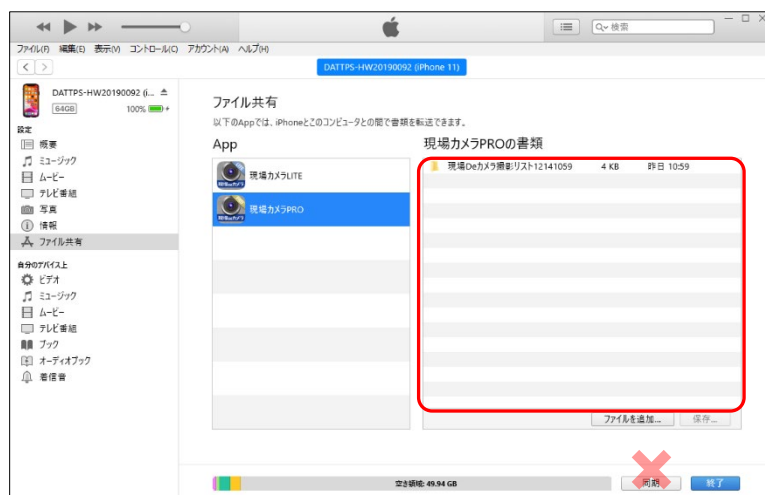
iTunes上では赤枠でマークされている箇所にデバイスアイコンが表示されます  
ので、表示されたアイコンをマウスクリックします。



左側のペインから「ファイル共有」を選  
択すると、右側にアプリの詳細が読み  
込まれます。

「App」一覧より現場DEカメラLITEま  
たは現場DEカメラPROを選択します。

選択後は「書類」欄が有効になります。



「書類」欄に撮影リストを含むフォルダ  
をドラッグアンドドロップしてください。  
フォルダが登録された時点で本体ス  
トレージへの撮影リスト転送は完了です。  
「同期」ボタンを押す必要はありません。

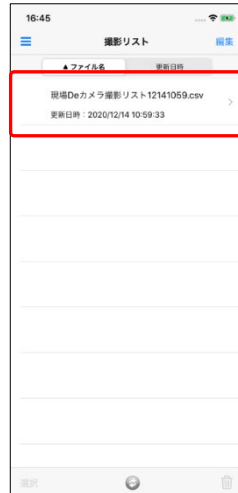
## 3-1-2 撮影リストの読み込みと撮影

## ●リスト読み込み

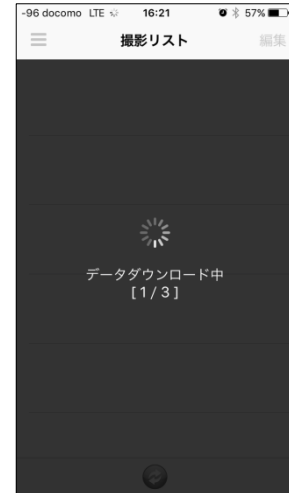
以下の手順にてリストを読み込みます。



「リスト読み込み」をタップします。  
(iPad版は「撮影リストに従った撮影」をタップします)



設定済みストレージに保存された撮影リストが表示されますので、リストファイル(CSV形式)をタップします。



データの読み込みが行われます。撮影箇所や図面が多いと時間が掛かることがありますのでお待ちください。

## ●撮影リストの表示

写真管理ツールで作成した写真箱階層通りに撮影箇所が表示されます。  
現場では「撮影する箇所を逐次選択肢撮影する」流れになります。

## ●撮影リストの階層表示と選択例



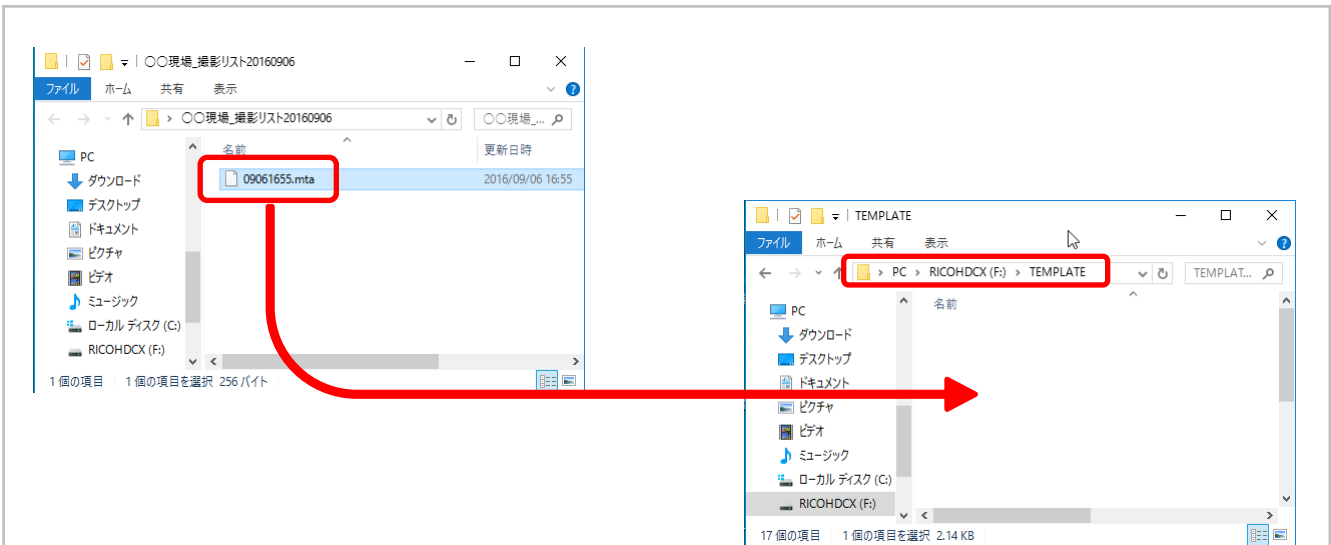
## 3-2 【カメラ】リコーカメラメモ出力の利用

## 3-2-1 撮影リストの転送

撮影リストを【カメラ】リコー社製デジタルカメラ(ここではG900を例に記載します)へ転送します。

## ●G900への転送

撮影リストを出力したパソコンとG900をケーブルで接続します。



作成したカメラメモ (xxxx.mta) と接続したG900のSDカード内TEMPLATEフォルダ、それぞれを参照できるエクスプローラー画面を表示します。

作成したカメラメモ (xxxx.mta) ファイルを、G900のSDカード内TEMPLATEフォルダにコピーし転送完了となります。

パソコンとG900の接続を解除するには、パソコン側で[ハードウェアの安全な取り外し](※)を行った上でケーブルを外してください。

※ご利用のパソコンのOSにより、多少文言が異なります。  
詳しくはG900の操作マニュアル(ソフトウェア編)をご確認ください。

### 3-3 【アプリ】RICOH Drive用出力の利用

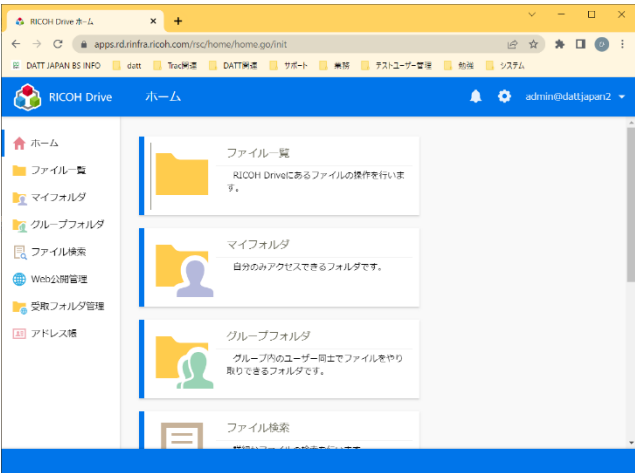
#### 3-3-1 撮影リストの転送

撮影リストを【アプリ】RICOH Driveで利用するため、初期設定を行った外部ストレージ(RICOH Drive)へ転送します。

##### ●外部ストレージ(RICOH Drive)への転送

RICOH Driveへ撮影リストを転送する場合は、Webブラウザからストレージサービスにログインし、撮影リストを「**フォルダ単位**」でアップロードしてください。

**RICOH Drive**



RICOH Driveのログイン後の画面表示です。  
任意の場所へ撮影リストを含むフォルダをアップロードしてください。

※ RICOH Driveの既定フォルダ下(※※)にフォルダが作成されていない場合は【アプリ】RICOH Driveから撮影リストを取得できません。

※※ RICOH Driveの既定フォルダは下記の通りです。

TOP▶(法人名)▶(ユーザーID)▶list▶(任意フォルダ)

## 3-3-2 撮影リストの読み込み

## ●リスト読み込み

以下の手順にてリストを読み込みます。 ※【アプリ】RICOH Driveの画面、仕様は予告なく変更される場合があります。



「設定」をタップします。



「連携フォルダ」から取り込みたい撮影リストを保存したフォルダを選択します。



トップ画面に戻り「入力」をタップします。



撮影リストが表示されるのでタップで進みます。

以上で撮影リストの取り込みは完了です。

撮影方法については、製品付属のマニュアルをご参照ください。

## 撮影リスト利用のてびき

---

発行 2019年3月(2025年10月改訂)  
発行者 ダットジャパン株式会社